

令和3年度 農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 事業実施主体 評価結果

1. 事業評価の実施

令和3年度に実施された農山漁村振興交付金(山村活性化対策)の事業について、「農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領」(平成30年3月28日付け29農振第2261号農林水産省農村振興局長通知)の第9の1の(1)の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 評価結果

| 都道府県 | 市町村 | 事業実施主体名 | 事業実施段階 | | | 評価 | 評 価 コ メ ン ト |
|------|-----|---------|--------|----|----|----|--|
| | | | R1 | R2 | R3 | | |
| 奈良県 | 黒滝村 | 黒滝村 | ● | ● | ■ | A | 令和3年度(最終年度)において、「透かし彫り工芸」および「水組木工」の技術伝承の後継者育成や新たな商品開発、販路拡大において、一定の成果があったと見込める。特に雇用については、133%の達成率というのは、相当の努力があったかと思われ大変評価のできる内容となっている。 村独自に首都圏への販路開拓を目指すなど、コロナ禍ではあるが、動きを止めずに進めておられ、それが成果となって現れてきている。官・民との連携もうまくやっていると感じられるところが随所にあり、今後、さらに、この連携をうまく活用し、村全体に波及していくような流れを作り出してもらいたい。 実際に村を訪れてみると、道の駅などのお土産物販売等での人流は、増加していると確かな手応えも感じとれる。イベントでは、黒滝村の伝統工芸の前で足を止める方も見受けられる。 3年間で終わりではない。今後も引き続き、新たな目標を立てて、次のステップへと進んでもらいたい。 |

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ○●交付対象年度(計画) ●●交付対象年度(実施済) □●目標年度(計画) ■●目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分: A●優良 B●良好 C●低調

3. 第三者の意見聴取

農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領の第9の1の(1)の規定に基づき、第三者である北村達也から評価に当たり意見の聴取を行った。第三者及び意見聴取の概要は以下のとおり。

【第三者】

奈良県フォレスターアカデミー総務企画課 課長 北村 達也

【意見聴取の概要】

地域産業の掘り起こしで、村内木材関係業者はもとより、異業種事業体からも聞き取り調査を行ったことで、村内事業者と共同で商品開発やイベント等試験販売を実施することができ、黒滝村ブランドで商品のPRをすることで販路先が広がる。今後、新たに設立した木工集団「スギイロ」が事業展開していく中で、動く組織として村内での連携が見込まれる。

また、コロナ渦の中ではあるが、昨年に引き続き首都圏等の商圏での展示会やリモート商談会にも参加し、いろんな業種のバイヤーから商品開発、商品の販路についてのアドバイスも受け、現在も新たな商品を試作しているとのことから、今後、首都圏等の販路拡大に期待が持てる。

3年度は、2年度に引き続きオリンピック・パラリンピック公認ショップでの販売や大正区や大和高田市などの公共施設への売り込みによる継続的な販路ができたことは評価できる。

昨年度、目標達成がされていなかった雇用者数については、目標3名のところ4名雇用する事ができている。3年目の売り上げ目標についても、2,000千円に対して2,155千円と達成できたことは評価できる。今後は売上増加に繋がるように努力する必要がある。